

第24回消費者行動研究コンファレンス

プログラム

(統一論題)

消費者情報処理研究とブランド

- ブランドという情報をめぐって -

日時: 2002年6月7日(金)~6月8日(土)

場所: 研究会会場 和歌山大学西高松キャンパス
松下会館・生涯学習教育研究センター
(2階ホール)
懇親会会場 サンピア和歌山

日本消費者行動研究学会

第1日目 6/7(金) 和歌山大学生涯学習教育研究センター(西高松キャンパス)

受付 10:00 ~ 10:25

開会の辞 10:25 ~ 10:30
副会長 上田隆穂(学習院大学)

自由論題研究報告 10:30 ~ 12:00

「化粧品購入時の2極化構造の要因」

辻幸恵(京都学園大学)

「「モノとゴミ」の処理に関する消費者行動 - デプスインタビューによる探索 - 」

木下広美(応用社会心理学研究所)

西道実(プール学院大学)

岩井洋(関西国際大学)

東正訓(追手門学院大学)

吉田純子(応用社会心理学研究所)

永野光朗(大阪樟蔭女子大学)

「製品利用におけるオケージョンと価値体系:ラダリング法とテキスト・マイニングの活用」

上田隆穂(学習院大学)

柴田典子(横浜市立大学)

昼食(役員会) 12:00 ~ 14:00

統一論題テーマ提起

14:00 ~ 14:30

「消費者情報処理研究とブランド:ブランドという情報をめぐって」
新倉貴士(関西学院大学)

統一論題研究報告(1)「消費者情報処理研究とブランド」

14:30 ~ 17:15

「消費者行動研究とブランド・マネジメント:その交点と今後の展望」
青木幸弘(学習院大学)

「ブランドとカテゴリー化理論」

徳山美津恵(学習院大学大学院)

「継起的購買行動における動機付けと認知的学習の役割:バラエティ・
シーキング行動の観点から」

土橋治子(中村学園大学)

会員総会

17:15 ~ 17:45

懇親会

18:00 ~ 20:00

第2日目 6/8(土) 和歌山大学生涯学習教育研究センター(西高松キャンパス)

統一論題研究報告(2) 「消費者情報処理研究とブランド」

10:00 ~ 11:30

「適応的意思決定の拡張:その問題点」

山本昭二(関西学院大学)

「情報探索とブランド:ブランド主導型情報処理に関する探索的研究」

坂下玄哲(神戸大学大学院)

昼食

11:30 ~ 13:00

シンポジウム

13:00 ~ 15:00

「消費者情報処理研究とブランド」

司会

新倉貴士(関西学院大学)

パネラー

和田充夫(慶應義塾大学)

岸志津江(東京経済大学)

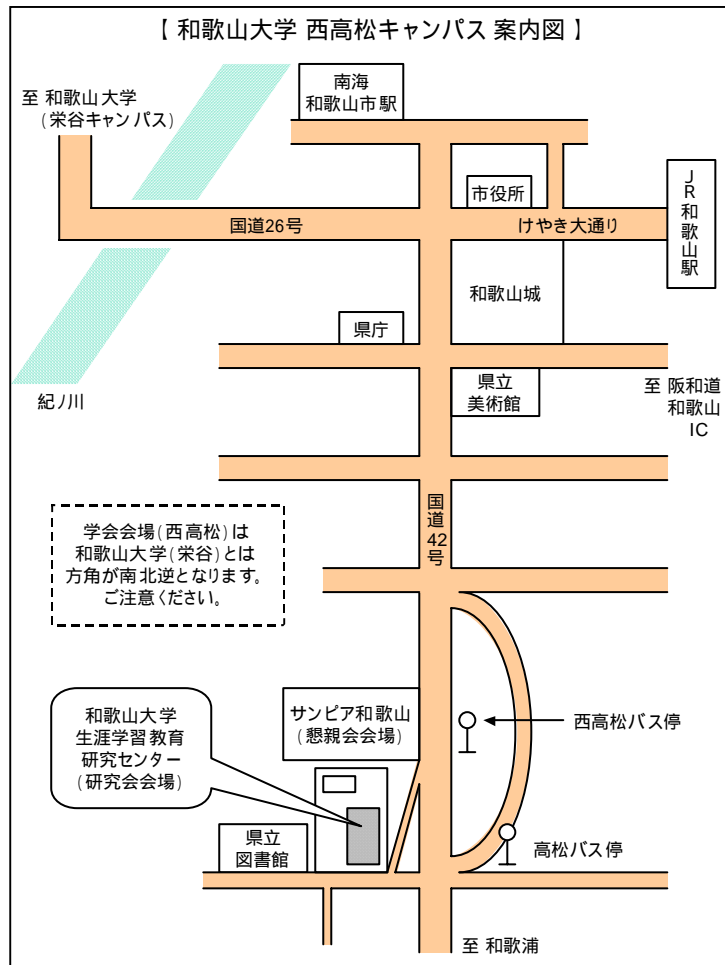
青木幸弘(学習院大学)

閉会の辞

15:00 ~ 15:05

会長 青木幸弘(学習院大学)

(和歌山大学 西高松キャンパス案内図)



会場ならびに和歌山へのアクセスなどについては、下記のページを参照して下さい。

<http://www.sasakian.com/lab/jacs24/>

JACS